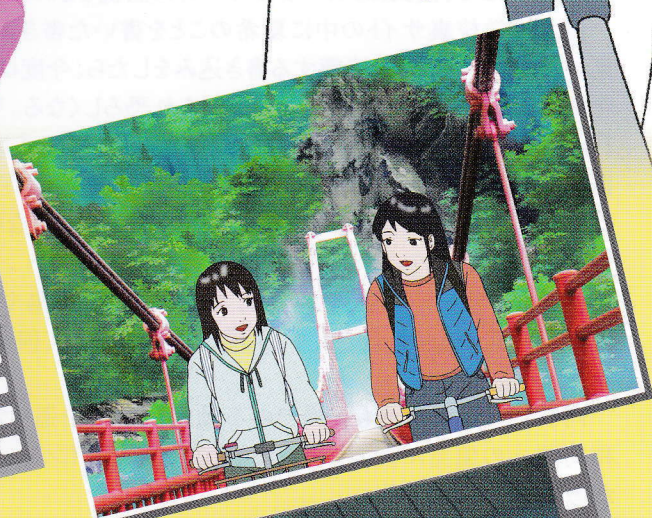
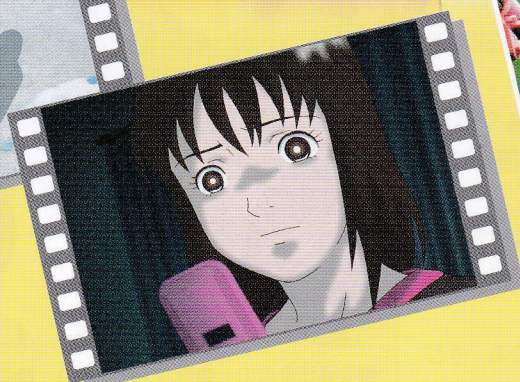
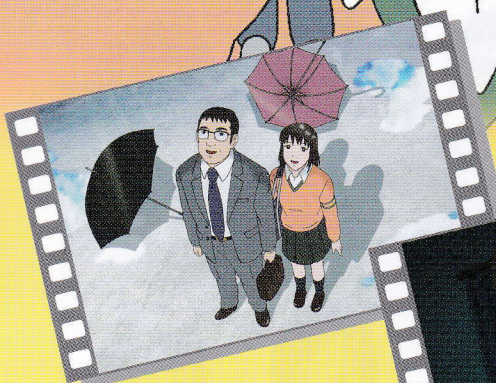


声を聞かせて

文部科学省特選



制作のねらい

携帯電話は、もはや単なる“電話機”ではありません。メールやインターネットなど、さまざまな機能を持つようになり、大人をも含めて、「ケータイがないと不安」なケータイ依存までもつくり出しています。このケータイを子どもが持つということは、どういった環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実に向き合っていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。改めて認識を深めていただければ幸いです。

学習のポイント

- 子どものケータイ(メール、学校裏サイト・掲示板・・・)
- 同和問題
- 友情～本当の友達、そして本当のコミュニケーションとは
- 家族のきずな
- 命の大切さ

■企画:北九州市 北九州市教育委員会 北九州市人権問題啓発推進協議会
 ■制作:東映株式会社 ■アニメーション制作協力:グループ・タック
 ■プロデューサー:鎌田幸人 ■声の出演:加藤英美里/サントス・アンナ ほか
 ■監督・絵コンテ:上田真一郎 ■脚本:山上梨香 ■音楽制作:蟠龍寺スタジオ
 ●16ミリ/ビデオ版/DVD版(字幕入りもあります) 【上映時間 40分】

心の通い合う対話で、人権が尊重される社会を

北九州市人権啓発映画制作委員長 柿嶋 譲

優衣は、大きな声で「まどか!声を聞かせて!」と呼びかけます。まどかが携帯のメールで「優衣、ずっと言いたくて、でも言えなかったことがあります。ごめんなさい」と謝ってきたのです。

優衣は親友となった夏希や両親、学校など周囲の人々の温かい支えもあり、一時は「死にたい!」とまで思いつめた孤立感から解放されていきます。そして、夏希とのメッセージ(手紙と写真と絵)の交換を通して、再起への第一歩を踏み出しました。同時に、この体験を通して、コミュニケーションは情報を伝達するだけでなく、感情を伝え合う重要な役割もあることを学びました。

コンピューター、インターネット、携帯などIT機器の進歩で、情報伝達の世界は一気に広がり、便利になりました。しかし、反面、負の影響も多く出てきました。インターネットの普及に伴い、その匿名性や情報発信の容易さを利用して、他人を誹謗中傷したり、差別を助長する表現や有害な情報を掲載したりする人権問題が発生しています。

同和問題に関しても、インターネットを利用して差別的な情報を掲載するなどの事象が後を絶ちません。

「携帯やインターネットがあるから、いじめが起きるわけじゃないんです。問題なのはそれを凶器に変えてしまう人間の心だと思うんです」。学校での先生の言葉を反芻したいと思います。

あらすじ

八木沢優衣は念願の携帯電話を買ってもらい、友人とのメール交換に夢中だ。親友のまどかに「返信は5分以内に」と言われて、食事中も気になって仕方がない。父の健介も、家にいる時は仕事の電話やメールばかり。目の前にいる家族よりも携帯電話ばかり見ている健介に、(優衣の)母・直美は諦めに近い表情で見ている。

優衣は、在校生や卒業生が匿名で自由に書き込める『学校裏サイト』と呼ばれるインターネット掲示板の存在をまどかに教えてもらった。そこには、級友や教師の悪口・噂話が匿名の人たちによって書き込まれていた。優衣はそれを怖いとも不快とも思わず、友達と話のネタにしていた。

クラスにいる安藤夏希は、携帯電話を持っておらず、人と群れない、「あの子少し変わってる」と敬遠されていた。夏希の複雑な家庭事情を好き勝手に噂する者もいた。しかし、優衣は、あることをきっかけに次第に夏希の人柄にひかれていく。「携帯電話は持たない」という夏希。「自分は夏希のようになれない、みんなと同じじゃないと怖い」と言う優衣に、夏希はこんな言葉を返す。「いいんじゃない、あんたはあんた。私は私」。優衣は、携帯電話やメールがなくても心がつながることを知る。しかし、夏希を悪く言うまどかたちに反論したことで、優衣はグループから一斉に無視をされる。

優衣は学校裏サイトの中に夏希のことを書いた書き込みを見つけた。その夏希を擁護する書き込みをしたら、今度はその悪意ある書き込みの矛先が自分に向けられ恐ろしくなる。翌日、『学校裏サイト』に優衣の名を語った『男大好き、彼氏募集』の書き込みがなされたことから、優衣の携帯電話にいたずらメールが続々と届く。ショックで人間不信になり、学校に行けなくなる優衣。

学校裏サイトへの書き込みに気づいた担任の青島や母の直美が優衣のために動き出す。「親として教師として何ができるか」。

同じころ、父の健介も職場での不動産トラブルを巡って、同和問題への偏見に直面していた。この問題でもインターネットが悪用されている。

健介の中で過去の自分の体験と優衣の問題が重なる。そして、健介は娘のためにある行動をとる。

一方、夏希も友達として優衣のために、動き始めた。そして、優衣は…。



P.

東映株式会社 教育映像部
<http://www.toei.co.jp/edu/>

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955